

清水山開き



身をきよめ 安全祈願

平成十七年度の山開きを七月十五日、観光協会主催で約五十人の出席者のもと厳粛に神事と、安全祈願が行われた。今回は従来のおもむきを変え、春野光さんのバイオリン演奏と、富永将暉氏の席書が披露された。

傍聴者

仁部謙蔵、仁部陽子、山崎良允、塚原輝義、眞子公敏、本村初磨、小柳容子、平野章、兵動保馬、片倉信雄、中島正仁、井本智、西山巖、御厨五男、桜木淳子、池田浩、石丸芳明、中野光子、辻丸ミツヨ、増田美津子、御厨ミツエ、袋井静子、北川幸子、北島恵子、秀坂和子、深川恵美子、古賀壽美、橋本平次郎、江里口浅巳、大石吉次、田尻治昭、大久保憲二、木村スマ子、今井泰子、溝口茂人、大石昭一郎、田中進、池田薫、蔵原義章、牛島貞枝、吉木昭五郎、村山妙子、岡千代高木静子、興相多津子、柴田洋、井澤恵己子、島松孝夫、永池安彦、金丸忠、稗田迪雄、内田敏光、池田孝弘、関屋晴美、金原光徳、大木茂彦、半田幸子、永池清野、光岡和子、金原敬生、面田伊八、古賀善行、副島昭十朗、田中和夫

請願・意見書

六月定例議会の最終日の七月十一日、請願一件、意見書三件が審議されました。

請願

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願（請願者 西村正弘 小城市牛津町、紹介議員 眞子輝雄）

同じ内容の意見書の案文が提案され、全会一致で採択。内閣総理大臣など関係機関に提出しました。

意見書

「地方六団体改革案の早期実現に関する意見書」、「地方議会制度の充実強化に関する意見書」が全会一致で採択され、参議院議長など関係機関に提出しました。

「道路特定財源の確保に関する意見書」は、賛成五十五、反対三で採択され、衆議院議長など関係機関に提出しました。

編集後記

小城市になって、二回目の議会広報の編集となった。今回は、何といっても一般質問に三十二名が登壇し、一週間に亘って論戦を展開。一人半ページをあてるだけで十六ページにもなってしまう。できるだけ、読みやすいように、質問者に関係する写真の提供を求めたが、半数からは出されなかった。文字だけの広報よりも、読者にどう読んでいただける紙面にするかを心がけていきたい。表紙は、涼しい夏を演出する清水の滝を取りあげた。（松）

傍聴席



山崎 良允

新生小城市が発足して初の定例市議会。江里口市長が描いた夢を市民ひとりひとりのものとし、具体化・実現していく第一歩となる議会だけに期待と緊張をもって傍聴席に着きました。多数の椅子を用意されていました

があちこちに空席が見られ、新しい小城市の未来に一抹の不安が頭をよぎったのは私一人ではないと思います。

広い仮の議場は六十名の議員でぎっしり。白熱の論戦を期待していましたが詰めめ甘さが目立ち失礼ながらもや期待外れの感。それに旧町の柵を引きずった発言も少し気になりました。今、一番大事なことは市民の融和を

図ること。旧四町それぞれの柵を断ち切って志を同じくすることに腐心するのが、任期が残り一年を切った議員に課せられた責務ではないかと思えます。市民の意見・要望をあまねく聞き、集約されて市政に反映していただく。そして今後の小城市の発展の原動力となつて欲しい。明るく活き活きと働く人、嬉しそくに笑顔で暮らす人があふれる小城市を目指して!!

議会をどう見た

なりませんか?

市議会は公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんのお越しをお待ちしています。

◎次の定例会は九月中旬の予定です。

委員長	南里 茂幸
副委員長	内橋 優
委員	松尾 義幸
〃	香月チエミ
〃	岡本 和泰
〃	岸川 英樹
〃	飯盛 祐輔
〃	江島佐知子